

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	出産後早期の女性のマイナートラブルの実態とショートからだケアクラスの効果の検討
研究責任者	周産期外来 大野芳江
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>本研究は、産褥早期の女性のマイナートラブルの実態や入院中に実施しているショートからだケアクラスの心身への効果を検討することを目的としています。</p> <p>近年、産褥期の女性の75%が産後のマイナートラブルを抱えることが明らかにされています。また母親の心身の健康状態の低下は、育児に直接影響するため、産褥早期からの心身へのケアが必要とされていますが、まだ支援方法は明確にはされていない現状にあります。</p> <p>当センターは、2017年より入院中の皆様の心身の癒しやリラクゼーションへのケアとして、ショートからだケアクラスを開催しております。産褥早期の実践に関する知見が少ないなか、この研究結果を公開していくことで産褥期の女性へのケア提供に寄与できる可能性があります。</p>
研究方法	<p>本研究は後方視的な観察研究です。2017年9月～2020年12月までに、ショートからだケアクラスに参加した褥婦の方を対象としています。ショートからだケアクラスの前後に記入していただいたデータから、産褥早期の女性に必要な支援方法を考えます。</p> <p>質問用紙の項目は、1)現在の気持ちについて、2)心身の主観的自覚症状、3)参加した感想についてID番号を記入の上、任意でお伺いしました。今回は、ID番号をデータとして扱いませんので、あなたの回答が特定される可能性はありません。</p> <p>直接的な利益ではありませんが、将来クラスに参加する方には有益な貢献となります。研究対象期間に質問用紙を記入した方で、データを使用してほしくないという方は、下記の連絡先までお願いいたします。データを使用したくない方も、不利益をこうむることはありません。</p> <p>本研究で得た知見は、学会や論文等で公表されます。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 看護部 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：大野芳江 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>